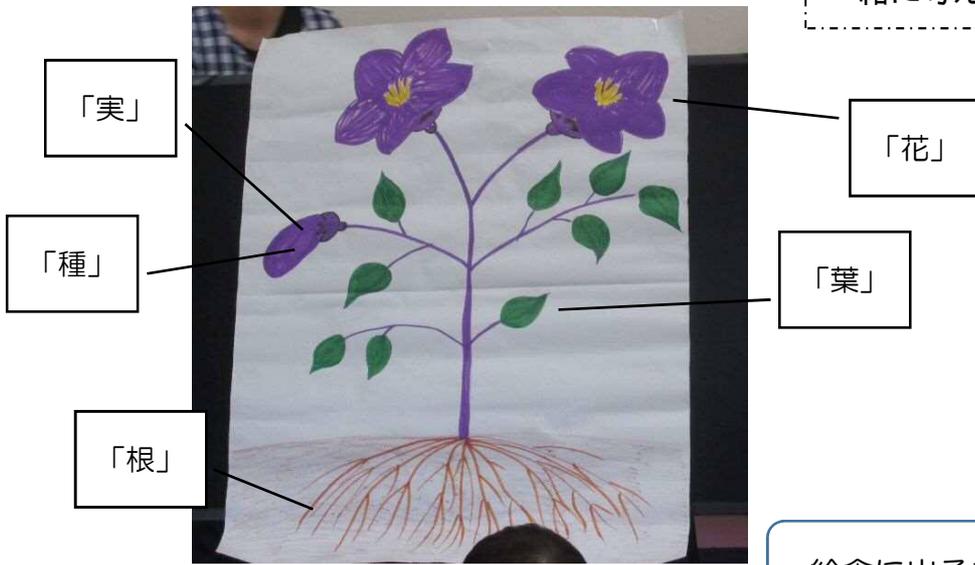


施設名	さいたま市立鈴谷西保育園	電話	853-7755
住所	さいたま市中央区鈴谷7-3-31		

事例 29	タイトル	野菜のどこの部分を食べているの？	
目指す姿 (大きな目標)	食への関心を高め、食べる意欲に繋げる		
当日のねらい (小さな目標)	自分たちが食べているものは野菜の「実」「葉」「種」「花」「根」のどこの部分であるのか考える		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児 (3歳児) (4歳児) (5歳児) 保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭 (保育士) 栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年8月23日(金)	
	場所	ホール	
	資料・教材	模造紙(畑で栽培しているナスのイラストを描いたもの)、野菜の写真	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食育集会の第2部として、3・4・5歳児を対象に行う。第1部では全歳児を対象に、野菜に親しめるような手遊びうたや、野菜を使った福笑いのような内容を取り入れた。 ・自分たちの体に頭や手やお腹などがあるように、栽培している野菜にも「実」「葉」「種」「花」「根」と呼ばれる部分があることを伝え、普段食べているものは野菜のどこの部分なのかを保育士と一緒に考えていく。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・4・5歳児は日頃から野菜の栽培をしており、興味を持ち考えている姿があった。 ・きゅうりやキャベツなど「実」「葉」は分かりやすいようで、子どもたちからもすぐに答えがあがった。一方でさつまいもは少し難しかったようだが、芋掘りの経験がある5歳児から「根」であると答えが出てきた。 ・たまねぎは「葉」であるが、保育士も知らなかったとの声が聞かれ、子どもと共に学ぶ機会になった。 ・参加した中で一番年齢の低かった3歳児でも、その日の給食では「これは葉っぱなんだよね」等、学んだこと保育士や友だちと会話しながら食べる姿が見られた。 		
評価・今後の課題	内容は子どもたちにとって少し難しいようにも思われたが、子どもたちが栽培しているものを中心に話をしたことや、模造紙のイラストと野菜の写真を用いて視覚的にも話を進められたことで、最後まで興味を持って参加する姿が見られた。また、集会などの行事は、写真や文章を載せたものを保護者向けに掲示しているが、今回は保護者も食への関心を高め、食育について考えてもらいたいとの思いから、全員がもれなく目を通せるよう全家庭に食育集会についての様子を手紙として配布した。子どもたちが楽しみながら、そして保護者も一緒に食への関心を高められるように引き続き工夫していきたい。	備考	第2回目の食育集会を11月22日に予定している。職員劇「げんきッズ」を通して、元気に過ごすためにはバランスの良い食事をするのが大切であると伝えていく。また、第一回目の食育集会と同様に、集会の様子を全家庭に手紙として配布し、保護者も食育への意識を高められるようにする。

模造紙に畑のナスの絵を描いたもの



普段食べているものは野菜のどこの部分なのかを保育士と一緒に考えました。

給食に出るお野菜も考えてみてね！

子どもたちの集会中の様子



第一部では子どもたちが野菜で顔を作りながら、野菜に親しめるようにしました。



施設名	鈴谷東保育園	電話	048-855-1034
住所	さいたま市中央区鈴谷9-3-2		

事例 30	タイトル	リース作り～さつま芋のつるの変化～	
目指す姿 (大きな目標)	さつま芋に触れながら、保育士や友だちと気付きを伝え合い、興味や理解を深める		
当日のねらい (小さな目標)	身近な野菜(さつま芋)に触れ、芋掘りやリース作りを楽しむ		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ 5歳児 ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年10月31日、11月7日、12月16、17日	
	場所	渋谷農園(芋畑)、5歳児保育室	
	資料・教材	さつま芋のつる、毛糸、どんぐり、松ぼっくり、アルミホイル等 絵本「しぜん さつまいも」「楽しい どんぐり まつぼっくり 落ち葉の工作BOOK」等	
実施内容	①さつま芋の絵本を通し、芋掘りへの期待を高めていくと共に、つるからリースができることを知る。 ②芋掘り ③リースの土台作り ④乾燥後、リースの飾り付け		
結果・参加者の反応や様子	<p>【芋掘り】 芋畑まで距離があったが、「お芋、たくさん取るんだ」と楽しみにしながら歩く。昨年度は掘ることへの戸惑いが見られ、手に力が入っていない子もいたが、今年度は「大きいのを取るぞ」と意欲的に掘っていく。掘った芋の大きさや長さ、形を友だち同士で見せ合い、保育士にも「見て」と嬉しそうに伝えていた。「大学芋にして食べる」「お芋ご飯にするんだ」と食べることを楽しみにしながら持ち帰った。後日、園庭の砂場でも小さな芋を使って芋掘りごっこやお料理ごっこを楽しんでいた。</p> <p>【リース作り】 ・つるを見て、「これ何?」「あ、お芋のつるだ」と興味津々である。保育士がつるを円形に形作り、円周に子どもがつるを巻く。「葉っぱの匂いがするね」「つる、こんなに長いんだね」と気付いたことを伝えながら行い、「楽しい、もっとやりたい」という子も多かった。 ・つるは保育室で吊るして乾燥させていた為、「色が茶色くなってきた」「匂いがしなくなってきた」と変化に気付く。飾りつけをする時も手で触れてみて「硬くなってる」とつるの変化に驚いていた。飾り付けは毛糸を巻いたり、どんぐりや丸めたアルミホイル等をボンドでつけたりし、「つるがこんなにきれいになった」「お家で飾る!」とできあがったものを嬉しそうに保育士や保護者に見せていた。</p>		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも保育園でも食べる機会が多く、身近な食材であるさつま芋から食育体験を行うことで子ども達の興味も強く、気付きも多く出た。 ・芋掘り時はつるに触れる機会が少なく、リース作りに繋げる際は絵本や図鑑を用いながら行った。芋掘り時にもゆっくりつるに触れられる時間を設ければより理解が深まったと思う。 ・さつま芋の持ち帰りがあった為、さつま芋料理のレシピを発行したり、芋掘りやリース作りの過程を保護者に発信したり、食育から保護者支援に繋げていく方法を考えたい。 	備 考	

施設名	さいたま市立八王子保育園	電話	048-855-4700
住所	さいたま市中央区八王子5-12-17		

事例 31	タイトル	食育集会～みそ汁ってどうやってできるの？ ‘だしてなんだろう’	
目指す姿 (大きな目標)	園での給食に関心を持つ		
当日のねらい (小さな目標)	うま味のもとである「だし」を知る 給食のおかわりで出てくる子ども達の大好きな「煮干し」「かつおぶし」は何かを知る		
方法	対象者 (○で囲む)	①歳児・①歳児・②歳児・③歳児・④歳児・⑤歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年7月17日	
	場所	ホール	
	資料・教材	調理服・給食用大きな鍋・大きなしゃもじ・小さい鍋・コンロ・ポット・だし汁・煮干し・かつおぶし・こんぶ・豆腐	
実施内容	7月のお誕生日会の出し物として第1回食育集会を行う。 調理服・大きなお鍋・しゃもじを給食室から借りて子どもたちに紹介する。 給食で子ども達が大好きなおかわりに出てくる「煮干し」「かつおぶし」は何に使っているのかをみそ汁作りの実演を通して、うま味のもとである「だし」を子ども達に伝えながら、「煮干し」「かつおぶし」の正体を知る。		
結果・参加者の反応や様子	白い調理服を着た保育士が大きなお鍋としゃもじをもって登場すると何が始まるんだろうと子ども達は驚いている様子だった。 煮干しやかつおぶし・みそ汁の具材の豆腐やわかめを子ども達1人1人に見せてあげたり、匂いを嗅いでみたりする機会を作り、とても興味を持っていた。 実演を進めていくうちに、ホールに広がっていくだしの香りに「いいにおい～」「食べた～い!」ととても関心を持ち、よく見ていた。		
評価・今後の課題	給食のおかわりで出してもらっている煮干しの炒り煮やかつおぶしの醤油漬けが子ども達の中でとても人気であることから、その正体を子ども達に伝える目的と食べ物の「おいしさのひみつ」は「だし」であることも一緒に伝えることができた。子ども達が更に食べ物・給食が大好きになっていくように食育担当で考え進めていきたい。	備考	

食育集会 R1. 7. 17

～みそ汁ってどうやってできるの？
「だし」ってなんだろう？～

～給食の道具の紹介～

こんなに大きなお鍋やしゃもじを使って
給食を作っているよ！！



みそ汁づくりスタート！



いつも給食で出てくるおかかと煮干しが大好きな子どもたち。でもこれって給食の何に使ったの？
うま味のもとである「だし」を伝えようと、誕生会の出し物としてみそ汁づくりの実演をしました♪



まずはお湯を入れて…
だしはかつお節と煮干し！



だしに使うかつお節と煮干しは
どんなにおいがするかな？



煮立ったら
取り出すよ！



具は豆腐とわかめ！
これも嗅いでみました



できあがり！



実演を進めるうちにホールに広がっていくだしの香りに「いいにおい！」「食べたーい！！」とみんな興味津々でした。

給食のみそ汁に使われるかつお節や煮干しの「だし」を知ることを通して、改めて給食の先生に感謝しながら味わってほしいと思います♪

施設名	大久保保育園	電話	854-8818
住所	桜区大久保領家373-1		

事例 32	タイトル	親子でクイズを楽しもう	
目指す姿 (大きな目標)	親子で食への興味関心を広げる		
当日のねらい (小さな目標)	親子での会話を増やし、食べることや食材、給食に興味を持つ		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年10月～	
	場所	全体掲示板	
	資料・教材	書籍:「保育としての食育」、「クイズで食育」	
実施内容	掲示板を利用し、子ども、保護者が一緒に考えられる内容の、食材に関するクイズ掲示を行う。果物の葉、花当てクイズなど、写真やイラストを用いて、クイズを出題。正解だと思うものにマークシールを貼る投票形式で、送迎時に親子で一緒に取り組めるようにする。正解発表の時に、食材に関する豆知識情報も合わせて知らせた。		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時、立ち止まり掲示物に目を向ける保護者の姿があった。子どもが、親だけでなく、祖父母・兄弟を呼び、掲示のことを教えて一緒に考える姿もあった。マークシールを貼る簡単な参加型だったので、誰でも手軽に行えており、子ども、保護者それぞれが投票していた。 ・クイズ出題に写真を取り入れたことで、興味をひき楽しそうに見ている様子があった。答えを選択型にしたことで難しくなく親子で考えることができた。 ・掲示場所が子どもの目の届くところだったので、子ども同士で考えながら、会話が生まれ楽しむ場面もあった。 ・豆知識情報をみた保護者から、「初めて知った」「勉強になる」という意見をもらい、関心を高められたように感じる。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちは、給食中にクイズの内容が話題になることもあり、楽しんで参加していた。簡単な内容だけでなく、保護者にとっても回答を考えなければならなかったことで、初めて知る情報を提供できたことで、ねらいとしていた「親子で食への興味関心を広げる」ということに、近づける取り組みであった。 ・期間が偏ってしまったので、年間を通して計画的に取り組むようにし、様々な題材を紹介できるようにしたい。 	備考	

施設名	さいたま市立田島保育園	電話	048(866)3425
住所	さいたま市桜区2-6-17		

事例 33	タイトル	食育イベント「野菜を切ってみよう！」	
目指す姿 (大きな目標)	五感を使って、野菜や食材への興味関心を高める。		
当日のねらい (小さな目標)	実際に野菜を調理する様子を見て、野菜や切り方による形や匂いの違いに気付く。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年6月12日(水)10:40~11:10、お迎え時(15:00~19:30)	
	場所	5歳児保育室、ベランダ	
	資料・教材	野菜(人参・玉ねぎ・カボチャ)、包丁、まな板、デジカメ2台(写真用、動画用)、ビデオカメラ(手元を映す用)、プロジェクター、スクリーン、机1台	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・歌「えいようのうた」 ・野菜あてクイズ ・野菜カットの実演(当日の献立(シチュー)のカット、千切り、みじんぎり、すりおろし) ・夕方、イベントの様子を動画と壁新聞(別紙資料参照)を使って保護者へ発信した。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・「えいようのうた」は昨年度の食育担当が全クラスにイラスト入りの歌詞ポスターを配布し歌っていたことで、子どもたちがとても元気よく歌っていた。 ・野菜あてクイズでは、すぐに野菜を見せずに、使用する野菜の色や形をヒントとしてあげたことで子どもたちが頭の中で野菜を想像し、期待が高まっていた。 ・色々な野菜が手際よくカットされていく様子を見て「はやい!」「すごい!」と感動していた。 ・カボチャを丸々カットすると「でっかい」「かたそう」と一緒に力が入るような様子だった。 ・玉ねぎのすりおろしでは、「とけてる」「ふわふわ」など、子どもならではの感性での声が多かった。 ・イベントの最後、順番に匂いを嗅いでみると、「うっ」と鼻をおさえたり「いいにおい」をよく嗅ごうとする様子が見られた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンを用意したことで、切っている手元がよく見え、盛りだくさんの内容であったが子どもたちも喜んでよく見ていた。 ・調理師さんによる実演で、保育者が行う集会とは違った特別感や魅力があった。メフォスの職員さんがとても協力的なので、今後も保育者と給食室が連携したイベントを企画していきたい。また、今回は保育者発信の内容であったが、子ども達の興味ややりたいことからテーマを決めて取り組んでいきたい。 	備考	<ul style="list-style-type: none"> ・今年、田島保育園は八百屋さんと連携して廃棄野菜をいただき、園庭での自由な野菜遊びを楽しんだ。5月の取り組みで4、5歳児を中心に“自分で切りたい”と試行錯誤する姿が見られ、子どもの遊び方が更に広がればという思いで今回のイベントを企画した。 ・イベント後、年長児は大工さんの協力のもと木製の包丁を手作りし、野菜を切って遊ぶことができた。それを見た小さいクラスの子たちも順番に包丁を借りて、カットを楽しんだ。

食育イベント「野菜を切ってみよう！」



いちよう切り、千切り、
シチューに入るのはどっち？



カボチャはでっかい！
かたそう〜！！！！



玉ねぎのすりおろし、
とけてる！？ふわふわ〜♡



最後に近くで見てもみたよ！
匂いをくんくんくん
…



施設名	さいたま市立白鍬保育園	電話	854-5539
住所	さいたま市桜区白鍬511		

事例 34	タイトル	五感で知るカレーの秘密	
目指す姿 (大きな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物と健康との関係を知り、何でも進んで食べようとする ・楽しい食事を通して意欲をもって食べる 		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・五感で感じながらカレーの具材、調味料、作り方を知り、食べることを楽しむ 		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・ <u>2歳児</u> ・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和元年12月16日(月)	
	場所	ホール	
	資料・教材	野菜、調味料、包丁、まな板、鍋、タッパー、献立レシピ	
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> ①クイズ(カレーに入っている果物は？じゃがいもは全部で何個？マヨネーズ、ケチャップどちらが入っている？) ②カレーの具材紹介 ③調味料紹介 ④給食室の調理器具紹介 ⑤作り方実演 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・食育クイズではカレーの中に入っている具材や調味料についての問題を選択問題として出したことで味をイメージしながら考え、楽しく参加していた。 ・にんにく、生姜を実際に子どもたちの前でみじん切りにした。目で見るだけでなく匂いを嗅いだり触ったりする子もいた。「くさい」「嗅いだことある」「本当にカレーに入っているの？」など一人ひとりが感じたことを言葉や表情で表していた。にんにくと生姜では、にんにくの匂いの方が人気であった。 ・調味料(カレー粉、中濃ソース、しょうゆ、ケチャップ)の匂いを嗅ぐと何度も嗅いで匂いを楽しんでいった。また実際にカレーを食べる時にも匂いをかいで確かめる姿が見られた。ソースの匂いがわからない子が多く、家庭で使用する献立が少なくなってきたのかと思われた。 ・集会後の給食でカレーが出て、カレーの具材を目でよく見たり、匂いを嗅いだり、味を確かめながら食べる姿が見られた。食材、調味料への興味も深まり楽しく食べる姿があった。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当日調理員の方に参加してもらい集会を進めていく予定であったが、感染症流行のため参加できなくなってしまった。カレーの日に行いたいという職員の思いがあり、急遽、保育士が実演した。感染症の流行の少ない時期に設定すべきであった。子どもたちは、自分で触れたり、匂いを嗅いだりした献立だったので、興味をもち会話を楽しみながら食べていた。 ・今後は、給食室での調理の様子を写真や動画にとり、紹介する機会も取り入れていきたい。 	備考	

施設名	さいたま市立西堀保育園	電話	048-865-0271
住所	さいたま市桜区桜田3-9-12		

事例 35	タイトル	食育集会「食材について知ろう」	
目指す姿 (大きな目標)	身近な食材について知り、食への関心を深める		
当日のねらい (小さな目標)	給食に使われている食材を見たり触れたりして、興味を持つ		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年12月16日(月)	
	場所	2歳児室、ホール	
	資料・教材	0～2歳児ペープサート「カレーライス」、3～5歳児パネルシアター「カレーライス」(赤、黄、緑の仲間について)、野菜当てボックス、キャベツ、里芋、ブロッコリー、ヤーコン	
実施内容	夏に食育アンケートを保護者にとり、子どもの苦手な食材は野菜という回答が多く出た。そのアンケートを基に、野菜など身近な食材について知り、触れる機会を持つと、0～2歳児、3～5歳児に分かれて集会を行う。給食のメニューのカレーの日に合わせて、カレーのペープサート、パネルシアターを見て、実際に食材に触れた。職員の畑で採れた里芋やキャベツ、その他ヤーコンなどのめずらしい野菜にも触れた。		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・歳児関係なく、関心を持って楽しむことができた。 ・実際に野菜を持ってみたことで、匂いを嗅いだり皮をむこうとするなど、興味を示していた。その後の給食で、使われている食材に注目する子が増えた。 ・3～5歳児への赤、黄、緑の仲間についての話は長くなり、飽きてしまう様子の子もいた。 ・ヤーコンなどを、集会後に保護者にも見てもらえるように事務室前に展示すると、親子で見たり、触れて楽しむ姿も見られた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果を配布してから集会を開くまでに時間が開いてしまった。楽しむことができたので、もっと早くに計画をすれば良かった。 ・集会などを通して、季節ごとの旬な食材を見せられる機会を持てば、より食への関心に繋がるのではないか。 	備考	



野菜当てボックスの中に入っている野菜のクイズをしています。

みんなで野菜を持ってみています。

重たいな～！！



採れたての、そのものの野菜の姿にみんな興味津々です。

施設名	さいたま市立上大久保保育園	電話	048(855)4801
住所	桜区上大久保940-3		

事例 36	タイトル	見て、嗅いで、美味しく食べよう	
目指す姿 (大きな目標)	食育集会に参加し、実物に触れ、食への関心興味を広げる。		
当日のねらい (小さな目標)	ペープサート等を楽しく見て何でも美味しく食べる大切さを知る。 実物に触れて食材への興味、関心を持つ。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年6月14日(金)	
	場所	ホール	
	資料・教材	CD「あわあわ手洗いのうた、」ペープサート、香味野菜、すりおろし器、 写真、掲示物「食育集会だより」	
実施内容	ホールで1～5歳対象に食育集会を実施する。 歌で手洗いの仕方を知りペープサートで何でもよく食べると体が元気になる事や、簡単な美味しく食べる約束の良い、悪い例をクイズで行う。 当日の給食の食材を見せて、ニンニクや玉ねぎはすりおろしてみせ、子ども達は、実際に匂いを嗅いでみた。 保護者には、食育集会の様子や内容を掲示して知らせた。		
結果・参加者の反応や様子	ペープサートでは好き嫌いして食べない主人公がバイ菌にやられてしまいそうになるシーンで子ども達から自然と「全部食べて～」声が上がった。その後の給食では意識しているのかよく食べている子が多かった。美味しく食べる約束を思い出して「お皿を持って食べよう」と声をかけて振り返る子もいた。野菜のすりおろしではホール全体に匂いが広がりニンニクの匂いの強さに驚きつつも実際に嗅いでみると「これ、カレーの匂い！」と気が付く子もいた。大きいクラスでは他にはどんな料理に使われているかと会話が広がった。 掲示を見た保護者より、すりおろしや皮むきのお手伝いをさせてみたいという声があった。		
評価・今後の課題	ペープサートでの話にも、好き嫌いせずに美味しく食べる事を楽しく知る事ができた。又実際に見て匂いを嗅いだことで食材に興味広がった。さらには、5歳児クラスでは、この食材を使った食べ物を考える等関心も出てきている。今後も実体験を基にした楽しい取り組みを行っていききたい。	備考	

施設名	岸町保育園	電話	048-822-3010
住所	さいたま市浦和区岸町6-5-12		

事例 37	タイトル	食育クイズ	
目指す姿 (大きな目標)	親子で園の食育活動について興味をもてるようなきっかけ作りをする		
当日のねらい (小さな目標)	クイズに楽しんで参加する		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年 8月、11月、(1月も実施予定)	
	場所	園のベランダ	
	資料・教材	食育クイズの問題掲示、解答用紙、ポスト、賞状、メダル	
実施内容	<p>子どもと保護者が一緒に楽しめて食育活動に興味を持てるよう、給食や栽培など身近なところからクイズの問題を考えて食育ボードに掲示し、1週間程度ポストを設置した。朝・夕の送迎の際に親子で解答用紙に答えを記入してポストに投函してもらい、翌月の誕生会にて答えを発表し、表彰式を行う。</p> <p>〔クイズの内容 1回目:給食のカレーの材料で使用するバターの総量 2回目:5歳児の家庭菜園の野菜の収穫量〕</p>		
結果・参加者の反応や様子	<p>・送迎の際に親子で話をしながら楽しそうに解答用紙に記入し、ポストに入れる姿がみられた。</p> <p>・1回目の解答者は152人中30名だったが、誕生会で表彰式を行ったことで、次のクイズに期待する声が子どもたちからあがり、2回目は解答者が40名に増加した。(表彰式では職員手作りのペンダントと賞状を渡した。)</p>		
評価・今後の課題	初めての試みだったが、親子で答えを考えることで園の食育活動への興味を持つきっかけになったと感じた。今後も参加者を増やし、保護者と子どもたちが一緒に楽しみ、さらに興味を広げていけるような食育活動を企画していきたいと思う。	備考	



施設名	本太保育園	電話	882-3561
住所	浦和区本太4丁目3-15		

事例 38	タイトル	親子で楽しむ食育クイズ	
目指す姿 (大きな目標)	親子で食材に親しむ		
当日のねらい (小さな目標)	親子でクイズを楽しみながら食について会話をする。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・ <u>保護者</u> ・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年10月23日(水)～29日(火)	
	場所	事務所隣のエントランス	
	資料・教材	・カボチャ3個・カボチャのうちの1個と同じ重さのぬいぐるみ・クイズの解答用紙 ・ポスト・答えの掲示	
実施内容	○ハロウィンにちなんだクイズを実施、解答を用紙に書いてポストに入れてもらう。 ・カボチャの重さ当てクイズ(3個のカボチャの中からぬいぐるみと同じ重さのものを当てる) ・家で作ったかぼちゃ料理 ○正解のカボチャの番号と、家で作ったカボチャ料理の紹介を掲示		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・全園児に見える場所に展示したので、送迎の際、親子で楽しそうに会話をしながらクイズに答えている様子が見られた。 ・様々な形のカボチャを置いたので、珍しくて触ってみる子どもが多く、保護者も手に取っていた。0・1・2歳児クラスの子も触って楽しんでた。 ・家庭で作ったカボチャ料理は様々なものがあり、保育園のメニュー(ひまわりパイ)を作っている家庭もあった。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・普段は、あまり目にしない形のかぼちゃを親子で触ってみたり、重さを比べたりする機会となった。 ・普段は慌ただしく送迎をしている中、クイズの時間は親子で楽しそうにしている様子が見られてよかった。 ・今後は、答えを掲示した後の子どもの反応を聞けるようにしたり、園のかぼちゃを使った献立のレシピを配布することでさらに食事への興味に繋げていければと思う。 	備考	

施設名	さいたま市立領家保育園	電話	831-4378
住所	さいたま市浦和区領家7-14-16		

事例 39	タイトル	栽培を通して野菜の生長や不思議に触れる。	
目指す姿 (大きな目標)	日頃食べている野菜を育て、色々な経験をすることで食に対する関心をもつ		
当日のねらい (小さな目標)	日々、野菜の水やりや、変化を身近に感じる中で興味をもち関わっていく。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年5月～9月	
	場所	5歳児室・5歳児室隣の畑	
	資料・教材	計量ばかり	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スイカの栽培→収穫→はかりに乗せ、重さを計ってみる→食べる →実の観察…育つものと育たないものがあった ・ナス、オクラの栽培→花の色を知る→収穫→重さを計ってみる→食べる →ナスを実際に手にしてみ、絵に描く ・スイカが育つ様子を写真掲示する、ナスの絵を飾る等して保護者発信する 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・スイカは初めのうちツルだけ伸びていたが、ある日水やりをした子どもが、実がなっていることを発見する。その後からは更に興味を持ち水やりをし、初めて食べられる大きさになり、5歳児だけ食べられるととても嬉しそうにしていた。その様子を写真掲示し、ホワイトボードにもスイカについて記入をすると保護者からも反応があり、親子の共通の話題に繋がりが良かった。 ・ナスを食べる機会が多くあったが、子どもたちが納得するまで触れて絵を描くことによって、より興味を持てるようになったと思う。 ・他クラスに収穫した野菜を見せに行くことによって異年齢の関わりがあったり、そのクラスの保育者に声かけをしてもらったりとやりとりができたことも、自分達で育てた実感が持てたように思う。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜が育つにつれて子どもたちが気付いた変化や発見を、保育者が受け止めたり、クラスで話をし、伝える機会を持つことで、より栽培への関心を高めていくことが出来た。 ・給食の食材や図鑑、絵本等を通して食べ物と体の関係についても興味を持てるよう伝えていきたい。 	備考	

施設名	さいたま市立駒場保育園	電話	886-9200
住所	さいたま市浦和区駒場1-27-7		

事例 40	タイトル	食育集会 ～カレーライスができるまで～	
目指す姿 (大きな目標)	みんなで一緒に食べることや、何でも食べることの大切さを知る		
当日のねらい (小さな目標)	カレーライスの作り方を知り、食への興味・関心を持つ		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年11月12日(火)	
	場所	ホール	
	資料・教材	大型絵本 食育ランドの探検『たからものはなあに』 パネルシアター『カレーライスのうた』	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大型絵本の読み聞かせ ・導入として、『カレーライスのうた』のパネルシアターを演じた。 ・事前に給食担当者の協力を得て写真と動画の撮影をした。集会ではスライドショーを用いて、使用する野菜の量や鍋・ヘラ等の大きさ、作る手順等を説明しながら見せた。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・カレーは子ども達の好きなメニューなので、興味を持って見ていた。材料の多さに驚きながらも、映し出された材料を見て、「バターかな?」「これお家で見たことあるよ!」など思い思いに話し、楽しんで参加していた。 ・家庭と保育園の道具の大きさや量の多さの違いに気づき、「炊飯器じゃないんだね」等のつぶやきもあった。 ・普段入ることの出来ない給食室を身近に感じ、感謝の気持ちを持って食べようとしたり、器に食べ残さないようにしようとする姿があった。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に人気があって身近な献立を取り組んだため、子ども達の反応も良かった。普段の食事の中で、「蒸しパンって虫が入ってるんでしょ?」等の会話が聞かれたりしているので、今後は子ども達が作り方を知らないものを取り上げていけると良いと思う。 ・動画部分ではスピーカーをつないでご飯の炊ける音や煮込む音なども聞くことができれば、より興味深く見られるのではないかと思った。 	備考	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培(夏・冬) ・種まき～野菜の生長～収穫の様子を写真に撮り、保護者向けに掲示した。 ・その日に提供される献立のレシピを、給食の展示と共に置いておき、自由に持ち帰れるようにしている。



施設名	さいたま市立浦和中央保育園	電話	048-822-2067
住所	浦和区仲町 2-13-7		

事例 41	タイトル	食育劇「早寝 早起き 朝ごはん」	
目指す姿 (大きな目標)	規則正しい生活リズムを身につけ、健康に過ごす。		
当日のねらい (小さな目標)	早寝・早起き・朝ごはんの大切さを知る。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年11月8日(金)	
	場所	浦和中央保育園 ホール	
	資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルの「早寝 早起き 朝ごはん」のストーリーを作成 ・お手本となるバランスのとれた本物の朝ごはん 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による「早寝 早起き 朝ごはん」の劇を行った。 ・早寝・早起きをして朝ごはんを食べたAちゃん、それができないBちゃんが登場し、朝ごはんを食べないと元気がでないよ、という内容にした。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・良い例、悪い例の具体的な劇で、子ども達に問いかけたりと、やりとりをしながら劇が進んでいったので、子ども達にも分かりやすく、楽しく見ていた。 ・本物の食べ物を使ったことで、より子ども達の興味をひくことができた。 ・5歳児は集会の翌日から、表に早寝・早起き・朝ごはんの中で出来たものにシールを貼る取り組みをしている。「今日は○○ができたよー」「〇時におきたんだ」などと出来たことを友達や保育士に報告しながら、興味を持ったり、意識して取り組む姿が見られた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が関心をもつことができる内容であったので、分かりやすく楽しめたと思う。 ・食育劇を通して、子ども達も早寝・早起き・朝ごはんへの大切さを再確認する機会になった。 ・今後も、食育に関心がもてるようなものを考え、食育集会を計画していきたい。 	備考	



施設名	常盤保育園	電話	833-8730
住所	浦和区常盤9-3-16		

事例 42	タイトル	遊びの中で箸に親しもう！	
目指す姿 (大きな目標)	家庭と密に連携をとりながら、遊びの中で箸の使い方・持ち方を知らせることで箸の使用に子が少しずつ慣れ、無理なく箸の使用を開始していく。		
当日のねらい (小さな目標)	お箸遊びの中で楽しみながら、箸の使い方や持ち方を知り使ってみようとする。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和元年10月～	
	場所	3歳児室	
	資料・教材	箸、紙皿、シリコンカップ お弁当の具材に見立てた材料(スポンジ、丸めた折り紙、デコレーションボール)	
実施内容	室内遊びの中で箸遊びコーナーを設け、箸でお弁当の具材をつまんで遊べるようにする。子どもが箸を使いながら、具材をお弁当に見立てて自由に紙皿に盛り付けていく。遊ぶ中で、保育士が個別に一人ひとりの箸の慣れ具合を把握しながら、使い方や持ち方を知らせていく。また箸遊びの際は「人には向けない」、「立ち歩かない」、「座って使用する」ことなど、約束事も併せて伝えていくようにする。		
結果・参加者の反応や様子	お弁当に見立てたカラフルな材料を用意することで、「やりたい」と興味を持ちながら参加する子どもが多く見られた。箸は個々の慣れ具合に大きな差が見られ、家庭で使用している子は正しく持っていたり、経験がない子は「どうやるの?」と保育士に聞いてきたりする様子や、手で握ってなんとか掴もうとする様子がみられた。どの子もお弁当作りをそれぞれに楽しんでいる姿が伺え、カラフルに盛り付けられたお弁当が完成すると喜んで「見て～」と自慢気に保育士に見せていた。具材をつまみ、友達同士で「あーん」などと食べさせ合うような楽しそうな場面も見られた。 クラスで2度目の箸遊びを行った際に、箸を使う時は「人には向けない」「立ち歩かない」など子どもたちから約束事をいくつか挙げる事ができるようになっていた。保育参加の日に箸遊びを行った際は、参加した保護者も「家でも是非やってみます」という好意的な反応がみられた。		
評価・今後の課題	箸遊びの取り組みを続けていく中で箸の経験も積み重なり、少しずつ使い方が上手になってきている。 ホワイトボードや保護者に口頭で箸遊びの様子を伝えることで、家庭への発信を行っている。今後も子ども達の様子を伝えていくことで家庭でも少しずつ興味を持っていけるよう協力をお願いしていきたい。	備考	

施設名	常盤北保育園	電話	048-833-8728
住所	さいたま市浦和区針ヶ谷4-1-1		

事例 43	タイトル	冬野菜(小松菜・大根)の収穫	
目指す姿 (大きな目標)	自然に親しみ関心をもつ		
当日のねらい (小さな目標)	冬野菜の収穫を喜び、旬の食材を味わう		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・ 2歳児 ・ 3歳児 ・ 4歳児 ・ 5歳児 ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年12月25日	
	場所	園の畑	
	資料・教材		
実施内容	9月に種まきをした小松菜と大根の収穫を4・5歳児が行い、給食で調理したものを園児全員で食べた。		
結果・参加者の反応や様子	<p>・小松菜を収穫している時に、2歳児も興味を示して見ていたので、5歳児と一緒に収穫をし、水で土を洗い流す作業を行った。給食室で油いためにしてもらい、給食の時に全クラスで試食した。新鮮だったのでシャキシャキとしていて、子どもたちも良く食べていた。</p> <p>・大根抜きは、4歳児が行ったが、どの大根が大きいかわか夢中になって探したり、土の中から出てきた大根の大きさを比べたりして楽しく収穫をしていた。</p>		
評価・今後の課題	<p>夏野菜に引き続き、冬野菜の種まき、栽培と収穫を経験できた。9月の台風で大根の苗が飛ばされてしまったので、大根の生育が芳しくなかったが、15cmくらいの大きさになったので、何とか収穫できた。今後は9月の初めにまでに種まきを行うようにしたい。</p> <p>4・5歳児だけでなく、低年齢児もとても興味を示していたので、畑を有効活用して低年齢児も親しめるように作物を栽培していこうと思う。</p>		備考



施設名	東仲町保育園	電話	048859101
住所	浦和区東仲町28-16		

事例 44	タイトル	オクラの観察をしてみよう	
目指す姿 (大きな目標)	オクラの生長を通して、植物への関心を持ち、育てる大変さを感じたり、食べる喜びを味わう。		
当日のねらい (小さな目標)	オクラをよく見る、触る、匂いを嗅ぐ、食べる等、五感を通して色々なことを感じる。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ 5歳児 保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年6月～2019年12月	
	場所	東仲町保育園	
	資料・教材	プランター、オクラの苗、土、肥料、図鑑、絵本	
実施内容	オクラの苗を植えるところから収穫までを5歳児と担任で行う。子どもたちが毎日、当番毎に水やりをする。生長を観察し、変化のおもしろさや気付いたことを保育士や友だちと共有する。収穫後、給食室で調理してもらう。多く収穫できたときは、他のクラスにもおすそ分けをする。寒くなるにつれてオクラの色や形が変化することに気付き、しばらく生長を見守った後、中身を割って観察をする。		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> オクラの苗を植える場面では、実際に子どもたちが行なうことで根の張り方に興味を持ち、大事に扱う姿が見られた。 オクラの花が咲き、実ができはじめると「こうやってできるんだ」と驚く様子がある。段々と大きくなっていくので、生長を楽しみに毎日観察し、水やりにも意欲的に取り組むようになった。 オクラが苦手な子ども、自分で育てたものは一口でも食べてみようとする姿がある。また、食感やねばつき具合や味など、気付きや喜びを友だちと共有する。その後、他クラスの子にもオクラをおすそ分けした際、気付いたことや感じたことを教える姿があった。 大きすぎるオクラは茹でてでも固いことに気付いた。又、「オクラを収穫しないとどうなるか」ということに興味を持ったので収穫せずに観察を続ける。寒くなってから収穫すると色と形と匂いに変化があることに気付いた。種の色が黒っぽくなることに驚き、プランターに蒔いてみようということになった。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> オクラの生長を最後までじっくり観察することができた。途中で虫除けやカラス除けをどうしたら良いかを子どもたちが考え、様々な方法を試す姿があり、主体的に疑問や問題を解決しようとしていた。 興味を持たない子が数名いた。その子たちの関心をどうしたら寄せられるかが今後の課題と考える。 	備考	12月に収穫したオクラの写真 

施設名	さいたま市立大東保育園	電話	048-887-6168
住所	さいたま市浦和区大東2-18-7		

事例 45	タイトル	かぼちゃの重さ当てクイズ	
目指す姿 (大きな目標)	旬の食材に興味・関心を持ち、身近に感じる		
当日のねらい (小さな目標)	親子で楽しむ食育活動 冬の野菜に興味を持ち、実際に触ってみる		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年10月中旬	
	場所	集合玄関 掲示前	
	資料・教材	かぼちゃ・・・4コ(4種類) 投票箱 投票用紙 掲示	
実施内容	<p>○事前にクラスでかぼちゃの重さを当てるクイズの話をし、保護者と一緒に見て触って、投票に参加することを伝える。</p> <p>○かぼちゃの種類や見本となる重さ等を掲示し、実際にかぼちゃを展示する。</p> <p>1週間掲示をし、お迎えの時に保護者と一緒に答えを記入して投票箱に入れてもらう。</p> <p>○1, 2才は各クラスで結果を発表(正解者なし)、3, 4, 5才は集会の中で結果発表をする。近かった2名にメダルをプレゼントする。</p> <p>○保護者向けに結果の掲示を作り知らせる。</p>		
結果・参加者の反応や様子	<p>企画について伝えと、「○○と一緒にやる！」と楽しみにしていた。</p> <p>実際に掲示やかぼちゃに触れたり、親子での会話につながっていた。投票をした次の日には、参加したことを喜んで教えてくれたり、保護者からも楽しんで参加しましたという声があった。</p> <p>以前に別の企画で親子参加のものをやっていたので、前回よりも多くの参加がみられた。</p> <p>結果発表では、めくると答えがでてくる掲示を作ると子供が興味を持ってめくり、保護者が読み、親子での関わりにもつながった。</p>		
評価・今後の課題	年間を通して食材に興味を持ち、楽しめるような取り組みをしてきた。今回は親子で食を通して関わるきっかけになってほしいと考え実施した。かぼちゃを実際に触ってみたり、保護者にも園での取り組みと一緒に参加してもらうことができた。また、取り組みの後、給食にかぼちゃが出ると、反応する子や、苦手な子も食べてみたりする姿が見られたので良かった。今後も旬の野菜に触れる機会を増やし、子ども達が楽しめる取り組みを行い、そして、園での取り組みを保護者にも発信して共有できるようにしていきたい。	備考	

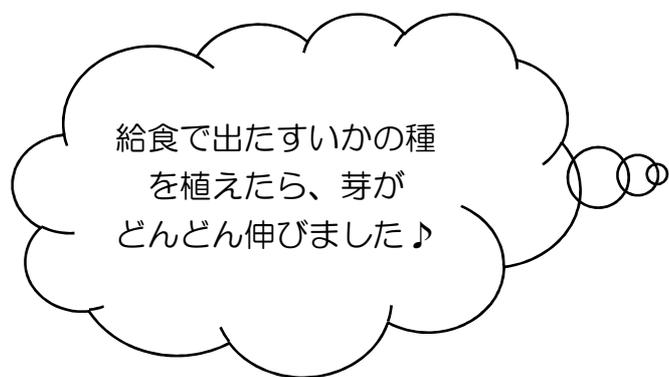
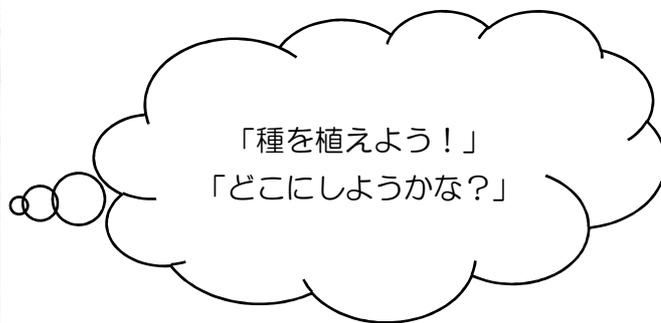
施設名	針ヶ谷保育園	電話	048 - 824 - 3746
住所	さいたま市浦和区針ヶ谷1-4-3		

事例 46	タイトル	育てて楽しむ夏野菜	
目指す姿 (大きな目標)	家庭菜園を通して、野菜が出来るまでを知り、食べ物大切さを感じる		
当日のねらい (小さな目標)	できた野菜を実際に食してみる		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ <u>3歳児</u> ・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年5月～	
	場所	園庭内プランター	
	資料・教材	ピーマンの苗	
実施内容	プランターで苗からピーマンを育てる。他クラスも別の野菜を育てていた為、水やりは他クラスがしてくれていました。3歳児はピーマンが育っていく過程を毎日、観察していました。できたピーマンは給食室で炒め物にしてもらったり、1個ずつ家庭に持ち帰り保護者の方に調理して頂き、感想や調理方法を書いてもらい反応を確認しました。		
結果・参加者の反応や様子	<p>花が咲き、実になり始めた頃から「ピーマンが出てきた！」と成長を喜んでいる姿が見られるようになってきました。</p> <p>苦手としている児が多いピーマンを選択しましたが、実際に成長していく過程を見たり、家庭で調理してもらった事で、ほとんどの児が「おいしかった」と言ってくれました。「まだ食べたい」と言う声も聞かれました。実際に育つ過程を見た事で、多くの児は『自分たちで作った』という気持ちが芽生えたようで、スーパーで買ってきたピーマンとは一味違ったように感じたようでした。</p> <p>保護者に感想を聞いた所、『普段は口にしないのに1人で完食してしていた』という感想や各々の家庭で調理の工夫が見られました。</p>		
評価・今後の課題	<p>家庭では野菜類を苦手としている児の姿を保護者から聞く機会が多かったが、今回の野菜作りを通して野菜(ピーマン)を食することへの抵抗感が減ったように感じました。</p> <p>また、保護者からはアンケートを快く記入して頂き、家庭での調理法や『僕(私)が作ったピーマン』と自慢しながら食べていたなどの様子も聞かれました。アンケートは自由閲覧ができるようにファイルに入れて、保育室内に置きました。</p>	備考	

施設名	さいたま市南浦和保育園	電話	048-861-6954
住所	南区 根岸 2-19-3		

事例 47	タイトル	旬の野菜ってどんな野菜？	
目指す姿 (大きな目標)	旬の野菜にはどんなものがあるかを知り、育てることで食べることの興味関心を高める。		
当日のねらい (小さな目標)	夏野菜に興味関心を持ち、楽しんで食育集会に参加する。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年 8月下旬～9月上旬	
	場所	各保育室	
	資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> 野菜や植物の葉や実、花を拡大した写真 エプロンシアター「やさいのパーティーおおさわぎ」 食育に関する体操の CD 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 野菜を題材にしたエプロンシアターを行い、野菜に興味をもつ。 3～5歳で栽培している野菜や園で育てている植物の葉や実、花の拡大写真を使用し、各年齢に合わせて難易度が違うクイズを行う。 食がテーマの体操を取り入れ、楽しんで参加する。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> 初めての食育集会であったが、各クラスずつ集まって行ったためクイズに参加しやすく手を挙げて答える姿が多く見られた。 子どもたちと一緒に育てた野菜の写真を使用したことから、興味をもって見ている子が多かった。 クイズは各年齢ごとに内容を変えたことでよく見ており、「もっとやりたい。」と声に出す子が多かった。 給食の時間にサラダやスープに入っている野菜を探し、「これは〇〇だよ。」とやりとりを楽しんだり、戸外あそびの時間に野菜の葉っぱや実を観察する子どもの姿がみられた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 集会を行うことで各クラスでどんな野菜を栽培しているか知ることができ、野菜に親しみをもつことができた。 集会後、給食中に子どもの会話の中で「これ何入っているの？」とスープやサラダに入っている野菜を先生に尋ねるなどの姿がみられ、食べる意欲に繋がった。 野菜の成長の様子を写真に撮り、園だよりに掲載することで保護者に発信できたが、更に園の提示コーナーを利用し、気軽に見られると良いと感じた。 	備考	

～夏野菜の栽培と成長の様子～



～食育集会の様子～



夏野菜クイズ♪



体操「食べて元気だYO！」

施設名	文蔵保育園	電話	863-1037
住所	さいたま市南区文蔵3-7-14		

事例 48	タイトル	どうやって作っているのかな？	
目指す姿 (大きな目標)	食育集会や誕生会などの集会を通して食に親しむ		
当日のねらい (小さな目標)	様々な食材を知ったり、行事にちなんだ食べ物を知る		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児 保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年6月～11月	
	場所	ホール	
	資料・教材	調理器具、食材	
実施内容	<p><集会の中で子どもたちの前で実際に作って見せる。></p> <p>6月 カレー作り (調理員にも登場してもらう)</p> <p>7月 アイス、バター作り (生クリームが液体から固体に変わる様子を見せる)</p> <p>8月 ゼリー (寒天をふやかす様子を見せ、触らせる)</p> <p>フレンチサラダ作り (ドレッシング、マヨネーズの作り方を見せる)</p> <p>9月 豆腐団子作り (十五夜にちなみ、豆腐団子を作る)</p> <p>10月 ジャックオランタン作り、かぼちゃの種当て、重さ当てクイズ</p> <p>11月 スイートポテト作り (野菜の茹でる前と後の違いを見せる)</p>		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に作っている過程を見て、食材の色の変化や硬さの違い等を知れた。 ・どの子も「わー！」と声をあげて興味を持って見ていた。 ・給食室を覗くことや、調理員とのかかわりが増えた。 ・簡単に作れるレシピを配布したのもあったので、家庭でも作ったことを報告してくれる子もいた。 ・保護者にアンケートを取ったところ、今まで家では野菜を食べなかったのに一緒に作ったからか、美味しいと言って子どもも食べてくれて嬉しかったという話もあった。 ・「お家でも作ってみたい！」と言う子が多く、実際に作った家庭もあった。「今まで一緒に作ったことはなかったけれど、混ぜるだけだったから子どもと一緒に作れました。」という声もあり、親子の触れ合いも持てたようだ。 ・間近で作っている様子を見て、イメージを膨らましやすくなったのか、ままごと時に皿に食べ物を置くだけだった子たちが切ったり混ぜたりと作る真似をするようになった。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合ったメニューを選んだので、行事のことや旬の食材のことなどを伝えられて良かった。 ・集会の様子の写真を掲示したりレシピを配ったことで保護者にも食育活動を発信でき、食育に興味を持ってもらえた。 ・引き続き集会や掲示等で知らせていきながら、親子で食育に興味を持ってもらえるようにしていきたい。 	備考	

施設名	さいたま市立白幡保育園	電話	048-863-8105
住所	さいたま市南区白幡3-1-2		

事例 49	タイトル	冬に美味しくなるお野菜	
目指す姿 (大きな目標)	・旬の野菜について知り、興味を持つ。		
当日のねらい (小さな目標)	・冬の野菜を知り、実際に触れ感触や重さを楽しむ。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・ <u>1歳児</u> ・ <u>2歳児</u> ・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年11月12日(火)9:20～	
	場所	ホール	
	資料・教材	・冬の野菜(白菜・大根・ブロッコリー・小松菜・ほうれん草・キャベツ・長ネギ・えのきたけ)	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・冬に収穫され冬に美味しくなる野菜があることを話す。 ・野菜の一部分を見せながらクイズ形式で紹介する。 ・実際に冬の野菜に触れて、においや感触、重さを感じる。 ・大きな白菜(約2kg)を丸ごと1人で持ってみる。(全児) 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・普段あまり見たり触れたりする機会がない、葉付き大根や丸ごと白菜、根が付いたほうれん草や小松菜等を実際に手にし、大きさにびっくりしたり興味深げに触れたりしていた。 ・丸ごと白菜は全員が交替で持ち、「重かった」等の感想を言っていた。 ・当日の給食で普段野菜を食べようとしない子が給食に入っていた冬野菜に興味を持ち、口にする姿が見られた。 ・集会後、「冬の野菜って、いっぱいあるんだね」「白菜、重かったよ」と保育士に伝えたり、お迎えにきた保護者に集会の事を話したりする姿が見られた。 ・園だよりにて、食育集会の様子を保護者に発信した。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・1年中お店で売っている野菜も多く、実際の野菜の旬が分かりにくくなっているため、「これから寒くなると美味しくなる冬に採れる野菜」を意識出来た。 ・大きな白菜(約2kg)を一人ずつ全員が持ってみて重さを感じる良い機会になった。 ・冬だけでなく、季節ごとに旬の野菜があることを知らせ、食への興味関心を育てていきたい。 	備考	

施設名	大谷場保育園	電話	885-8992
住所	さいたま市南区南浦和3-36-11		

事例 50	タイトル	食材の影絵クイズ	
目指す姿 (大きな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃食材を見て何の野菜か当てているが、形だけで食材を理解し、食への興味をもたせるようにする。 ・食材に慣れ親しむ。 		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・思いついた食材を自由に発言する。 ・色などのヒントから食材を想像してみる。 		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年 9月27日(金)	
	場所	2歳児室	
	資料・教材	・その日の給食で使う食材(キャベツ、きゅうり、さつまいも、長ネギ、にんじん、ピーマン、青梗菜、トマト)	
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> ① 「今日の給食に出てくる野菜だよ、当ててね。」等声掛けし、模造紙を真っすぐ下に引っ張って後から食材を写す。 ② 角度を変えて写したり、子ども達から「何色？」と質問が出たらヒントを出す。 ③ 思いつく野菜の名前を言い、正解を見せる。 ④ 前部見せ終わったら実際に食材に触れる。 ⑤ 食材、料理のカードで遊び、さらに興味を深める。 		
結果・参加者の反応や様子	<p>始まる前は「何をするんだろう？」と興味深々な様子。食材を写してみると、ニンジンはずぐ分かりキャベツや玉ねぎ、トマト等丸くて形の似てるものは色を伝えると分かる子もいた。きゅうりを写すと「ごぼう」と答える子、青梗菜は難しく「ブロッコリー」「チンカンセン」等の珍回答もあった。玉ねぎは実際に皮をむいて、中が白いということも見せることができた。</p> <p>実物を触るとキャベツがとっても重いこと、長ネギはにおいを嗅ぐと、独特なおいがることもわかった様子だった。</p>		
評価・今後の課題	<p>沢山の食材に触れ、実際に持ってみることで野菜をより身近に感じ楽しんでいただけたようだった。</p> <p>ただ、食材の数が多かったことと、給食で使う食材だったことから、活動自体があまり時間が取れず、バタバタしてしまったので、おやつで使う食材にする等配慮が必要であった。</p>	備考	

施設名	さいたま市立辻保育園	電話	864-3385
住所	さいたま市南区辻3-10-15		

事例 51	タイトル	～芋掘りごっこ～(旬の野菜に触れる)	
目指す姿 (大きな目標)	遊びの中で旬の食材に興味・関心をもつ。		
当日のねらい (小さな目標)	普段食べている食材に(旬の食材に)触れる。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・ <u>2歳児</u> ・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和1年11月13日	
	場所	園庭の砂場	
	資料・教材	芋掘りで収穫したさつまいも	
実施内容	芋掘りに行った4歳児を中心に、砂場に芋を埋めて、芋掘りに入っていない2、3歳児に芋を掘る楽しい体験を伝えた。		
結果・参加者の反応や様子	ここの砂場が「芋畑に繋がっているの?」との言葉が聞かれ、想像が広がっている様子がみられた。また、小さい芋を両手いっぱい抱えて、沢山掘れた喜びを感じていた。見つけた芋は、「これ食べられるの?」との言葉も聞かれた。その後、3歳児に「芋」についてどんな芋の種類があるのか質問すると、多くの子ども達が『さつまいも』をあげた。		
評価・今後の課題	<p>〈評価〉 ごっこ遊びを通して旬の食材に興味・関心を持つことが出来た。また、さつまいも以外にも関心ももてた。本当の芋掘り体験に行った児もいた。</p> <p>〈課題〉 他のクラスの参加も促していきたい。また、この体験を通して実際の給食で調理され使われていることに繋げていきたい。</p>	備考	

施設名	曲本保育園	電話	048-864-3384
住所	南区曲本 4-5-7		

事例 52	タイトル	「どうやってつくるの？」	
目指す姿 (大きな目標)	子どもたちから生まれる疑問に応答し、食への興味・関心を広める。		
当日のねらい (小さな目標)	調理師にメニューの作り方を聞き、子どもたちの疑問に答える。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年11月14日(木)	
	場所	3歳児保育室	
	資料・教材	特になし	
実施内容	<p>普段から、給食を食べる前に、その日のメニューを子どもたちに伝えていた。その中で、子どもたちの中から、「どうやって作るの？」という声が聞かれるようになり、食への興味が溢れて来ていることを感じた。そこで、調理師が保育室に立ち寄った際に、実際に食べているメニューの作り方を子どもたちから尋ねてみることにした。</p>		
結果・参加者の反応や様子	<p>調理師が保育室に来た際、子ども達に、「(作り方を)聞いてみれば？」と言ってみると、普段通り、「どうやって作るの？」という声が上がった。その声に応え、調理師が丁寧に説明してくれたことで、皆興味を持って話を聞いていた。翌日以降も子どもたちの「どうやって作るの？」の声は続いている。加えて、子どもたちから「今日のメニューは？」という声もあがるようになってきており、食への興味・関心の広がりが感じられる。また、調理師に教えてもらったメニューの作り方をクラスに掲示すると、それを見て親子で会話している様子も見られた。</p>		
評価・今後の課題	<p>子どもの内から出てくる興味に応答する良い機会になった。更に、別の日に「給食室を見に行く？」と聞くと、皆「行く！」と即答。実際に行ってみると、給食室の中や、洗い物をしている調理員の姿に興味津々で覗き込み、また調理員の話もよく聞いており、興味の広がりを感じた。今後もさらに子どもたちの食への興味・関心を広げられるような取り組みを給食室と共に進めていきたい。</p>	備考	

施設名	さいたま市立大谷口保育園	電話	048-887-4989
住所	さいたま市南区大谷口1089-1		

事例 53	タイトル	おおやぐちファーム	
目指す姿 (大きな目標)	楽しく食べよう。 保護者に対して食への意識を高めるような取り組みをする。		
当日のねらい (小さな目標)	食材に興味を持つ。		
方 法	対象者 (○で囲む)	①歳児・①歳児・②歳児・③歳児・④歳児・⑤歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和1年7月～	
	場所	ホール	
	資料・教材	野菜の花や茎、実の模型の紹介	
	実施内容	野菜の模型をホールの壁面に掲示し、食材の興味、関心に繋げる。	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・4, 5歳が畑や園庭に配置したプランターで育てている野菜の模型がホールに展示されると、子どもたちは興味を持って見たり、手を伸ばし触ったりしていた。 ・花びらや葉も、本物と同じように作ったことで、子どもだけでなく、保護者も葉の形や花の色など、細部までじっくりと見ていた。特に4, 5歳児は昨年度から食育指導で、野菜の根、葉、茎について教わっていたこともあり、それぞれの野菜の形態に、興味を持って見ていた。 ・最初は葉だけだったところに、花がついたり、実がなったりと、その変化に気付き、「あっ！見て！」と嬉しそうに保育士や保護者に教える姿があった。 ・0歳児も担任が興味深く見ていると、「あ、あ」と伝えるようになったり、給食に野菜が出た時に「ホールで見たね」と担任が声を掛けると、ホールを指差したりする姿があった。 ・掲示を見ながら、「これ食べたね」「今日の給食に入っていたね」と、親子で話す姿があり、一緒に見たり触れたりすることで、親子の会話のきっかけになっていたと感じた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・展示を通し、どのような野菜を園児が育てているか知ったり、親子で見たり触れたりしながら、普段食べている身近な野菜の形、色、大きさや実り方に興味を持つきっかけとなった。 ・今後は、土の中で育つ根菜を中心に紹介し、さらに親子で一緒に食材について知り、興味や関心を持ち、五感で“食”を楽しむ機会を作ることが出来たらと思う。 	備考	

施設名	武蔵浦和保育園	電話	048(837)3411
住所	さいたま市南区鹿手袋 4-1-12		

事例 54	タイトル	れんこんってなあに？	
目指す姿 (大きな目標)	給食の献立に取り入れられている野菜に興味を持つ		
当日のねらい (小さな目標)	この日の給食に出る「はすのきんぴら」にちなみ、れんこんの栽培方法を知り、実物に触ってどんな野菜か興味を持ち、給食で食べる。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年11月26日(火) 9:00~	
	場所	ホール	
	資料・教材	れんこん・栽培の様子の写真や絵本をパネルにしたもの・包丁・まな板	
	実施内容	れんこんがスーパーや八百屋さんに並ぶまでにどのように成長するのか、蓮田に種れんこんを植えるところから順を追ってパネルで紹介をした。途中、れんこんの花クイズなど子どもたちにクイズをいくつか出した。最後に実際にれんこんを切り、れんこんの細くなっているところ(花や葉の茎が出る節)にも穴が開いているか見る。切っても切っても同じように穴があるのを見たり、切れ端を触ったりしてどんな野菜かを知り、興味を持った。給食では実際に調理されたものも食べた。	
結果・参加者の反応や様子	<p>給食では「はすのきんぴら」が出ることでれんこんを取り上げたが、実物を見て実際に触ったりすることで、より興味を持って見る事が出来た。</p> <p>「れんこんの花はどれ？」や「れんこんの穴はどんなふうに開いている？」という簡単なクイズの時にはわからないながらも3歳児も4・5歳児も積極的に手を挙げて答えていた。</p> <p>給食の時にはそれぞれのクラスで集会のことを思い出してれんこんの小さな穴を探したり、「いつもは嫌いで食べないけど」と言いながら食べたり、れんこんについて話をしながら食べる姿が見られた。</p> <p>また、食育集会の報告を保護者向けに掲示もし、子どもたちの様子を写真も交えて伝えた。</p>		
評価・今後の課題	<p>「苦手だけど食べた」「1回目に出た時はほとんど食べられなかったが集会を見た2回目の時は食べた」など、食べてみようとする意欲が芽生えたり、食材に対する興味関心を持つことが出来てよかった。</p> <p>保護者向けに掲示では単に掲示するだけでなく、子どもたちと食材について話をしたかなど反応がわかるようなミニアンケートを付けるなど工夫した方が良かったと思った。</p>	備考	

施設名	さいたま市立尾間木保育園	電話	048(873)1103
住所	緑区中尾1432-5		

事例 55	タイトル	自分たちでおにぎりを作ってみよう	
目指す姿 (大きな目標)	食について関心を持ち、食べる意欲につなげる		
当日のねらい (小さな目標)	自分で作る(料理する)ことの楽しさを味わう		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・ <u>調理師</u> ・調理員・その他()	
	日時	2019年7月31日(水)	
	場所	ホール	
	資料・教材		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達とおにぎりについて話をする。(どんな形?中の具は?) ・石鹼粘土を使用して、一人ずつおにぎりを作る。(ポンポンを具に見立てて中に入れ、折り紙ののりを巻く) ・固まったら石鹼になることを伝え、食べる前は手洗いをしっかり行おうという話をする。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・家でおにぎりを作った事のある子もない子も粘土をご飯に見立てて、楽しくおにぎりを作ることが出来た。「もっと作りたい!」という声も聞かれた。 ・作りながら、「さけがいい。」「梅干し食べられるよ。」などと、中身の具について話している子がいた。 ・固まったら石鹼になるということで、興味を持って家に持って帰ったり、お迎え時に保護者に話している姿も見られた。 ・数日後、給食やおやつ時に本物のおにぎりを作り、自分で作るおにぎりを良く食べていた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土を使う事で、衛生面を気にせずにおにぎりを作る経験を楽しむ事が出来た。後日、本物のおにぎりを作る時にも経験を活かしたようである。 ・集会の様子を写真入りで掲示したことで、保護者にも関心を持ってもらえ、食育につながったと思う。 	備考	

施設名	さいたま市立原山保育園	電話	048-885-7403
住所	さいたま市緑区原山 1-7-2		

事例 56	タイトル	食育集会(食育劇)	
目指す姿 (大きな目標)	食材に触れ、食べる意欲を育む		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物に興味や関心を持つ。 ・バランス良く食事することの大切さを知る。 		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年8月29日(木)	
	場所	ホール	
	資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・赤・黄・緑の食品群ポスターと食品マーク ・当日の給食で使われている食材(ピーマン、じゃがいも、きゅうり、油、乾燥わかめ等) 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会を利用し、職員が食育レンジャーとなって『赤・黄・緑の食べ物の役割について』『バランスよく食べる事の大事さ』を伝える。 ・その日給食に出る食材のマークを使って、三食食品群の色当てクイズを行う。 ・その日給食に出る食材を各クラス順番に見たり触ったりして感触を味わう。乾燥わかめを水で戻し、子どもたちが触れるようにする。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が衣装を着て登場した食育劇は子どもたちも大喜びで、話もよく聞いていた。 ・色当てクイズは全員参加型で楽しむことができ、特に4・5歳児は食べ物の役割について考えながら答えていたので予想外の答えに驚いたり喜んだりしながら参加していた。 ・子どもたちの目の前で乾燥わかめを水で戻し、各クラス順番に触ってみる時間を作った。未満児も自ら手を伸ばして触ってみる子どもが多く、以上児も「おもしろい形」「ぬるぬるしてる」「わかめが育ったね」「ごはんのにおいがする」と様々な感想を口にしていた。その他の食材も触れるように用意したので、その日の給食の時間には食材を探しながら食事の時間を楽しむことができた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省で、食育劇を年度末に行い内容を復習し保育に生かす時間が足りなかったのので、今年は8月に行い、10月にも食育集会を行い改めてバランスよく食べる事の大切さを伝えることができた。 ・なるべく多くの食材に触れる機会を作るようにしてきたが、給食室とも連携して調理器具の紹介、調理の様子を見るなど、違う角度から食への関心が持てる工夫が必要ではないかと思った。 	備考	



施設名	さいたま市立三室保育園	電話	048 (873) 7877
住所	さいたま市緑区三室1629-6		

事例 57	タイトル	畑に野菜を見に行こう	
目指す姿 (大きな目標)	野菜に興味や親しみを持つ		
当日のねらい (小さな目標)	野菜が畑になっている様子を実際に見ることで、野菜に興味を持つ		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年9月12日(木)	
	場所	地域の方が育てている野菜の畑	
	資料・教材	畑の野菜	
	実施内容	畑まで散歩に行き、野菜が植えられている様子を見る 実際に植えられている状態から、野菜の名前を当てる 保育園の給食で食材の話をする	
結果・参加者の反応や様子	<p>畑の野菜を見て、「これはにんじんかも」「キャベツじゃない?」と野菜の種類を想像していた。畑の手入れをしている方に偶然会えたので、「これは何の野菜ですか?」と質問をして、実際に何を育てているか知ることができた。</p> <p>その後、給食でも「これ畑にあった○○だ」といったように、経験を思い出しながら野菜を食べる姿があった。</p>		
評価・今後の課題	畑の方に偶然会うことができ、野菜の種類を教えていただくことができたことが、子どもたちの印象に強く残っているようだった。季節の野菜を知ることができるように、定期的に散歩の計画を入れていきたい。	備考	

施設名	西町保育園	電話	048(758)4401
住所	岩槻区西町3-1-24		

事例 58	タイトル	野菜を育ててみんなで食べよう！	
目指す姿 (大きな目標)	野菜の栽培を通して食材への関心を高め、育てる喜びを知り、食べる意欲に繋げていく		
当日のねらい (小さな目標)	身近な野菜に触れたり育てていく様子を観察する。収穫して皆で食べることを楽しむ。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・ <u>調理師</u> ・調理員・その他()	
	日時	2019年	
	場所	園庭の畑 5歳児室	
	資料・教材	じゃがいも、なす、きゅうり、すいか、ピーマン、パプリカ	
実施内容	6月から9月の期間、園庭の畑で野菜(じゃがいも、なす、きゅうり、すいか、ピーマン、パプリカ)を栽培した。途中で枯れてしまったり、実がカラスなどに食べられてしまう等の失敗もあったが、なす、ピーマン、パプリカは収穫でき、給食室でラタトゥイユに調理してもらい5歳児で食べた。種や苗を植えて育てている時の様子と収穫して食べている様子を写真を含めた壁新聞として作成して掲示し、保護者にも周知した。		
結果・参加者の反応や様子	年長児クラスの子どもたちでどんな野菜を育てたいか話し合うと子どもたちは意欲的に発言し沢山の案が上がった。種や苗を植えるときには「最初こんなのかなー。」と野菜の原形が普段食べている野菜と全く違うことに驚く声が多かった。子どもたちは水やりも意欲的で、戸外遊びに出る度「私が水やりする！」と言い争う場面も多かった。「どうしたらいいかな？」という声かけに対し「当番にしたらいいんじゃない？」という意見が出たので当番制を取り入れ、楽しく水やりを続けることが出来た。花が咲いたり実がなる様子に興味を持って観察する姿があり、生長していく過程を間近で見ることによって野菜がどのように育っていくのか知ることが出来た。特にパプリカは緑の状態から色が変化することに驚く子が多かった。収穫時には「わあ、手より大きいー。」「つるつるしてるー。」と感触を楽しむ姿があった。収穫した野菜は給食の先生にラタトゥイユに調理してもらって皆で食べると、「あまーい！」「おいしい！」「嫌いだったけど食べられたー！」という声が聞こえた。		
評価・今後の課題	野菜を育てる楽しさや自然に触れる楽しさを知ることが出来た。また、上手く育たない野菜もあり、野菜を育てる大変さも学ぶことが出来た。普段食べている野菜がどのような過程を経て出来上がっていくのか間近で見たり感じたりすることが出来た。その様子を掲示することで保護者に園での食育に対する取り組みを知ってもらうことが出来、さらに親子の会話のきっかけにもなった。今後は乳児クラスも何らかの形で野菜の栽培に関わることが出来たらいいと思った。	備考	

施設名	岩槻本町保育園	電話	756-7565
住所	さいたま市岩槻区2-5-5		

事例 59	タイトル	根菜を知ろう！	
目指す姿 (大きな目標)	食べ物についての興味・関心・知識を深め、食欲増進へと繋げる		
当日のねらい (小さな目標)	根菜についての興味・関心・知識を深める		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ 5歳児 保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・ 調理師 ・調理員・その他()	
	日時	2019年11月6日(水) 11:00~11:20	
	場所	5歳児室	
	資料・教材	・?(ハテナ)ボックス ・根菜ボード・野菜 (大根・さつまいも・ごぼう・れんこん・にんじん)	
実施内容	その日の給食が「根菜カレー」だった。根菜はどのような野菜のことをいうのか、又どのような野菜があるのかをハテナボックスを使って一人一人が体感しながら知っていく。その野菜を確認した上で根菜ボードを見ながらその働きについて話を聞く		
結果・参加者の反応や様子	<p>「根菜」という言葉はあまり聞きなれていない様子だったが、土の中で育つ野菜だということがわかると、イメージできる子どもも多かった。そこから、ハテナボックスで実際に触ることで、根菜の代表的な野菜をより知ることができていた。その中でも、10月23日に芋掘りを終えたばかりだったので、さつまいもは根菜なんだということが強く印象に残った様子だった。食後にさつまいもの絵を描いている子の姿も見られた。</p> <p>話を聞いてすぐに給食で「根菜カレー」を食べたので、普段はあまり気にせず食べていたが、さつまいもやれんこんをカレーの中から見つけると友達と嬉しそうに伝えあっている様子も見られた。</p> <p>12月のある給食の時間「今日は根菜が4つも入っている！」と気づいてみんなに教える子もいた。</p>		
評価・今後の課題	「根菜」ということばを知るきっかけになった。れんこんなどはあまり食べ慣れず苦手な子どもも多く見られる。これから給食の献立で根菜が出てきたときには体を温めてくれるという働きも繰り返し伝えながら、子ども達に推奨して食欲の増進へと繋げたい。また、保護者と共に知識を共有できるように掲示物などを活用していきたい。	備考	

施設名	さいたま市立諏訪保育園	電話	048(794)1620
住所	さいたま市岩槻区諏訪 2-5-1		

事例 60	タイトル	園庭の畑でさつま芋を育て、お芋ほりごっこを楽しもう！	
目指す姿 (大きな目標)	野菜を育て、収穫し食べる喜びを味わう。 野菜を使った遊びを楽しみ、野菜に興味を持つ		
当日のねらい (小さな目標)	身近な場所で安心できる大人と収穫を楽しむ。		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児 (2歳児) (3歳児) (4歳児) (5歳児) 保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭 (保育士) 栄養士 (調理師) 調理員・その他()	
	日時	2019年10月28日(2・3歳芋掘り) 11月上旬(芋版・リース作り)	
	場所	園庭の畑	
	資料・教材	さつま芋の苗・	
実施内容	園庭の畑に5歳児がさつま芋の苗を植え、水やりや雑草抜きをして育てる。他の野菜が次々と実ると、芋の葉を見て「この葉っぱは、何が出来るの」と聞いてくる姿が見られた。当日は「この土の中にお芋さんが隠れてるんだよ」と言ってお芋掘りが始まり、小さな手で一生懸命土を掘ってお芋掘りを楽しむ。5歳児は、自分たちが育てたさつま芋を嬉しそうに掘って楽しむ小さい子の姿を傍で見ている。2・3歳児の担任にお礼を言われると、嬉しそうにしていた。 その後、収穫したさつま芋を給食室で調理してもらい、みんなで食べる。(お芋はオーブンで焼き、つるはきんぴら風に煮てもらう)		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもは、「入っちゃだめ！」と言われている畑に「入っていいの？」と聞きながら、嬉しそうに畑に入り「おいも、あるかな?」「どこ?」などと友だちや保育士と会話しながら、掘ったり、一緒につるを引っ張ったりして、収穫を楽しんでいた。 ・初めて収穫を経験する子は、服や靴が汚れるのを嫌がる姿が見られたが、土の中からお芋が出てくると驚いた顔をし、その後、うれしそうな笑顔になった。 ・給食室でつるを甘く煮てもらい、みんなで食べる。「つるって食べられるんだ」「苦そう～」と言う声が聞かれたが、一口食べると「あま～い」「おいものあじがする」と言っておかわりする子もいた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・4・5歳児だけが行っていた芋掘りを、園庭の畑に苗を植え育てたことで、小さい子も安心してお芋ほりを楽しむことができた。家庭ではなかなか経験出来ない事だと思うので、今後も行っていきたい。 ・つるがついたままの状態のさつま芋の姿を見ることが出来たり、そのつるが食べられることを知り、実際に食べるという貴重な経験が出来たと思う。 	備 考	

施設名	美幸保育園	電話	757-8450
住所	さいたま市岩槻区美幸町3-18		

事例 61	タイトル	食育集会	
目指す姿 (大きな目標)	食事の大切さを感じる		
当日のねらい (小さな目標)	自分の食べている食材や身近な食物に関心を持つ		
方 法	対象者 (○で囲む)	0歳児・ <u>1歳児</u> ・ <u>2歳児</u> ・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	2019年7月18日	
	場所	美幸保育園ホール	
	資料・教材	・シルエットカード ・○×クイズ用紙芝居	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・シルエットクイズ 野菜、果物の断面の白黒写真と実物のカラー写真をめくるカードや紙芝居にして、あてっこクイズにした。 ・○×クイズ 紙芝居の登場人物が食べたものが○(いい物)×(悪い物)を考えながら答えてもらった 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・シルエットクイズ 幼児クラスの中に意外な食材でもシルエットを見ただけで答える子どもがおり、普段家庭でどんな物食べているのかが垣間見られた。 集会で楽しんだあと、めくるカードを保育室や玄関に貼ると、送迎の際に親子で会話を楽しみながらあてっこする姿が見られ、食材への興味関心を持つきっかけ作りになった。 ・○×クイズ 4、5歳児1問1問一生懸命考えながら答える姿や、朝食食べたものを思い出しながら「○の物を食べた」「今日は×だったなあ」など会話を楽しむ姿があった。 		
評価・今後の課題	シルエットクイズは難しいかと思っていたが、乳児クラスの子どもたちも保育室で楽しんでいたので、食に対する関心は低年齢でもある事に気付かされた。 集会という形だけでなく、各クラスの日常でも取り組める題材など検討していきたい。	備考	



【コラム】 早寝・早起き・朝ごはん ⑤

又ウのぬり絵♪「よく食べよく寝る」



さいたま市 PRキャラクター